

評価項目・評価基準

評価項目	評価基準
1. 調査業務実施計画	
全体計画	業務の工程計画が適切かつ妥当であり、更に柔軟性のある計画となっているか。
計	
2. 基礎資料の収集	
(1) 地盤モデルの作成	実現可能かつ信頼性の高い方法で収集することとなっているか。
(2) 土砂災害危険箇所等の現況把握	土砂災害危険箇所等を的確に収集・整理する計画となっているか。
(3) 津波の想定のための現況把握	津波・河川遡上の想定のために必要な基礎データを的確に収集・整理する計画となっているか。
(4) 社会条件資料の収集	被害想定に必要な社会条件資料を収集・整理する計画となっているか。
計	
3. 被害想定(自然現象)	
(1) 地震動の想定	最新の知見に基づき、精度の高い地震動を想定する計画となっているか。
(2) 液状化危険度の想定	最新の知見に基づき、精度の高い液状化危険度を想定する計画となっているか。県民にわかりやすいアウトプットを計画しているか。
(3) 土砂災害危険箇所の想定	最新の知見に基づき、精度の高い土砂災害危険箇所を想定する計画となっているか。県民にわかりやすいアウトプットを計画しているか。
(4) 津波の想定	最新の知見に基づき、精度の高い津波シミュレーションを実施する計画となっているか。県民にわかりやすいアウトプットを計画しているか。
計	
4. 事業者及び技術者(調査体制・実績・能力・適格性)	
(1) 調査体制	業務を行う上で、適切な人員・人材の確保がなされているか。また、管理体制及び調査体制は充実しているか。
(2) 事業者の同種業務の実績	過去10年間に、同種業務の実績はあるか。
(3) 管理技術者の能力・適格性	業務を行う上で、有効な資格等を持っているか。
(4) 管理技術者の従事経験	過去10年間に、同種業務の従事経験はあるか。
計	
5. 成果品	
成果品の作成	仕様書に示す内容に加えて、優れた提案があるか。
計	
6. 専門能力・取組姿勢(プレゼン・ヒアリング)	
(1) 専門能力	説明内容が専門能力に裏付けられ提案書の内容を補完しているか。
(2) 取組姿勢	業務に積極的に取り組む意欲が感じられるか。
計	
7. 見積金額	(50点×最低提案見積金額 / 当該提案見積金額)
合計	

6. については、2次審査のみ実施